

のあそび-labo

屋上はグランピングやバーベキューが楽しめます。



1階のカフェは個展やワークショップなどイベントスペースにも活用できます。



“のあそび”がテーマの地域の交流拠点づくり

荒尾駅前に賑わいを取り戻したい

荒尾駅前ホテル・カフェ・コワーキングスペースなどを備えた「のあそび-lodge」。このビルをDIYでリノベーションしたのは市内でクリニックを営む医師の中村光成さんが登山仲間と設立した一般社団法人「のあそび-labo」です。

中村さんは荒尾で長年暮らすうちに「医療以外でも人材育成やまちづくりで地域に貢献できないか」と考えるようになり、趣味のアウトドア経験を活かした地域の交流拠点作りを始めました。

体験・テントを張っての宿泊体験や災害時に役立つサバイバル体験なども行い、楽しく体験しながら市民の防災意識を高める活動も行っています。

「ビルが完成しても、まだまだDIYで変化し続けます。もつといろんな人に参加してもらい、活動を広げていきたいです。のあそびをきっかけに荒尾駅前を活性化して、荒尾をもっと元気なまちにしましょう！」と中村さんは力を込めます。



一緒に荒尾を盛り上げましょう!

「こんなこともやってます!」



荒尾駅前で開催し、多くの来場者で賑わう「のあそびマルシェ」 自然を体感でき、アウトドアラン者も楽しめる「小岱山ハイキング」

ふおーちゅん サークル 荒尾



フードパントリーで配布する食料や弁当は企業や農家から提供してもらい、食品ロス削減にも繋がります。



「荒尾のために何かしたい」その想いでボランティア活動に励む

食で地域をつなぐ フードパントリー

子どもたちを食事で支援する子ども食堂。コロナ禍で活動自粛が続くなか「フードパントリー」という食料や弁当を配布する活動が全国で広がっています。市内でも、ボランティア団体「ふおーちゅんサークル荒尾」が感染症拡大の影響を受ける家庭への支援として、1月に万田中央ふれあいハウスでフードパントリーを実施しました。

代表の西山親也さんがフードパントリーを始めたのは、所属する清掃ボランティア「グリーンサークル荒尾」の仲間との出会いがきっかけです。『荒尾のために何かをした』と意気投合し、新たな取り組みを考えるなかでフードパントリーが個人でもできると知った西山さんはすぐに行動を始めます。勉強会や子ども食堂の運営者に話しを聞くなど

「令和2年7月豪雨の水害で初めて災害ボランティアを体験し、みんなの力になった」と同じ想いを持つ人たちの出会いが今の活動の源です。子どもたちが成長したときに「荒尾で生まれてよかった」と思ってもらえるように、微力ながら荒尾を盛り上げていきたいです」と今後の意気込みを語る西山さん。

ハッピー(幸せ)とラッキー(運)を届けたらという願いから、「フォーチュン(幸運)と名付けたこの会は、その名の通りこれからも市民の皆さんに幸運を運んでいくことでしょう。」

これからもどんどん行動していきます!



西山親也さん

「こんなこともやってます!」



西山さんが所属するクリーンサークル荒尾は、「自由に楽しく安全に!」をモットーに2カ月に1度のペースで海岸沿いを清掃しています。

ロアツ熊本「火の国もりあげタイ！」プロジェクトの実施自治体に決定しました!



ロアツ熊本が行っている、県内の自治体と連携して地域を盛り上げるプロジェクト「火の国もりあげタイ!」の2022年の実施自治体に荒尾市が決定しました。このプロジェクトは、ロアツ熊本が掲げている日本一地域に根ざしたクラブづくりの取り組みの1つであり、2014年から実施されています。ロアツ熊本の選手と地域住民が交流しながら、地域の「まちづくり」や「まちおこし」を応援し、盛り上げていくことを目的とした活動です。今後は荒尾市担当として任命された9人の選手が、イベントや教室などさまざまな形で「地域の魅力」を発信していきます。



荒尾市は、担当選手とともに荒尾市を盛り上げ、J1昇格を目指すロアツ熊本を応援していきます。

■荒尾市の担当選手

- 〈背番号 1〉 田代 琉我
- 〈背番号 4〉 酒井 崇一
- 〈背番号 7〉 田辺 圭佑
- 〈背番号10〉 伊東 俊
- 〈背番号14〉 竹本 雄飛
- 〈背番号18〉 杉山 直宏
- 〈背番号21〉 ターレス
- 〈背番号24〉 江崎 巧朗
- 〈背番号33〉 阿部 海斗

1/24 有明元気づくりが第124回「熊日緑のリボン賞」を受賞!

有明元気づくりが「熊日緑のリボン賞」を受賞しました。「熊日緑のリボン賞」は、長年にわたって県内で社会奉仕や環境美化に取り組む人たちを讃える賞です。有明元気づくりは平成17年から地元の中高生が描いた絵を蔵満海岸の堤防に飾る取り組みを行っています。安田有明海部会長は、「この賞をもらったことで地域に勇気を与えられた。これからも継続して行っていきたい」と話しました。



まちの話題

Arao City News

荒尾市の気になる話題をお届け!



100歳おめでとうございます!

原田 尚信さん(八幡台一丁目)

1月7日に100歳の誕生日を迎えられました。趣味は美術品作り。手先が器用で、七宝焼や仏像彫刻など数多くの作品を制作しています。妻を守るために長生きすることが原田さんの信念だそうです。



地域の活動掲示板

荒尾市ではさまざまな活動が行われています!

防災・防犯パトロール



12/1 SDGs.11 住み続けられるまちづくりを 桜山地区協議会

桜山地区協議会は、地区の安心・安全な環境づくりを目的に年末の防災・防犯パトロールを行いました。出発式には荒尾警察署生活安全課長や桜山地区消防団長、地域住民約30人が参加。参加者全員で一致団結し、式後に各自パトロールに向かいました。活動は12月1日～24日まで行われ、地域の安心・安全に努めました。

どんどや



1/10 SDGs.4 質の高い教育をみんなに 万田地区協議会

万田地区協議会は、日本の伝統文化の継承と地区住民の交流を目的に「どんどや」を開催しました。高さ10メートルほどのやぐらを組み、地区住民の中から選ばれた5人(新成人・年男・年女)が点火。燃え上がる炎の前に訪れた人たちは、1年間の無病息災を祈りながら交流を深めていました。

1/9 令和4年荒尾市消防出初式が開催されました

消防団員の士気の高揚と、防災意識の普及・啓発を目的として、1月9日に「令和4年荒尾市消防出初式」を文化センターで開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、今年は感染防止策を十分に取ったうえで、式典のみを行いました。消防団員一同は、今年も荒尾市の安心・安全のため、防災活動に尽力することを誓いました。



12/20 桜山小PTAが「令和3年度優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞

桜山小PTAが「令和3年度優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞し、12月20日に市長に受賞の報告をしました。これまで、桜山小PTAは地域住民・団体と連携して「スポーツフェスティバル」や「桜山クリーン作戦」、「桜山ふれあい元気まつり」などの活動に取り組んできました。今回の表彰も地域住民・団体とPTAが連携した学校づくり、地域づくりに取り組む点が認められ受賞となりました。

